

所 属	都市建築部	水道企業課
担 当 名	県営水道担当	内線 2495

水道事業会計 (事業名) 東濃西部送水幹線(緊急時連絡管)事業 災害時応急給水支援施設事業 【県営水道の安定供給対策の推進】

1 事業費 889,800 (前年度 1,247,702)	【財源内訳】 国庫補助金 255,939 企業債 255,000 内部留保金 378,861	【主な用途】 工事費 719,000 調査費 81,061
--------------------------------------------	----------------------------------------------------------------	--------------------------------------------

2 事業の背景

県営水道は受水者に対して、平常時はもとより緊急時でも安定的に継続して水道水を供給することが使命である。

東濃西部地域の水需要増加への対応、漏水事故、河川汚染事故、異常湧水及び震災等の緊急時に対する危機管理の強化を目的とした送水管整備、併せて水道用水供給事業者(県)と水道事業者(受水町)が連携し、地震等の災害時においても給水が持続できる「災害時応急給水支援施設」の整備が急務となっている。

3 事業の概要

(1)東濃西部送水幹線(緊急時連絡管)事業

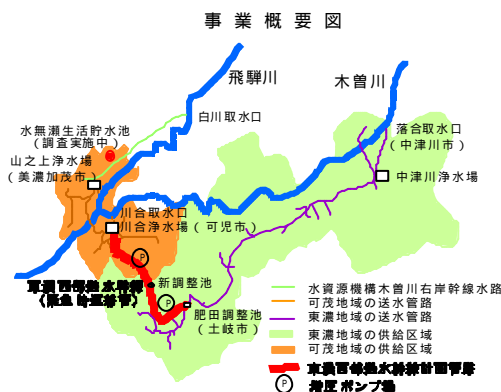
川合浄水場(可児)と肥田調整池(土岐)とを送水管で連結し、平常時は需要増加地区への送水管として、緊急時には東濃・可茂地域で相互融通することにより、安定供給対策を推進する。(事業期間 平成15~24年度)

(2)災害時応急給水支援施設事業

県営水道の送水管に設置されている空気弁類のうち、受水市町の学校、避難所、病院等の重要施設付近に「応急給水設備」を設置する。これにより、水道水の応急給水活動が迅速にできる応急給水拠点の整備が推進される。

(H18年度 応急給水支援施設調査設計、H19年度 応急給水設備空気弁等修繕工事 27箇所、H20年度 応急給水設備空気弁等修繕工事 5箇所)

『東濃西部送水幹線(緊急時連絡管)事業概要図』



『応急給水設備概念図』

